

(様式第2号)

平成30年度 第3回芦屋市指定管理者選定・評価委員会（海浜公園有料公園  
施設及び朝日ヶ丘公園有料公園施設） 会議要旨

日 時	平成30年10月29日（月） 12:45～15:30
場 所	芦屋市役所北館4階 教育委員会室
出 席 者	委員 富田 智和 藤川 千代 和田 聡子 比嘉 悟 山口 泰雄 市出席者 企画部 部長 川原 智夏 企画部主幹（施設政策担当課長） 島津 久夫 政策推進課 係長 筒井 大介 政策推進課 係員 西村 勇一郎 事務局 社会教育部 部長 田中 徹 スポーツ推進課 課長 木野 隆 スポーツ推進課 係長 木戸 秀行 スポーツ推進課 係員 櫻井 康晴 スポーツ推進課 係員 藤岡 厚貴 スポーツ推進課 係員 岡田 千裕
事 務 局	スポーツ推進課
会議の公開	<input type="checkbox"/> 公開 <input checked="" type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 会議の冒頭に諮り、出席者5人中5人の賛成多数により決定した。 〔芦屋市情報公開条例第19条の規定により非公開・一部公開は出席者の3分の2以上の賛成が必要〕 <非公開・一部公開とした場合の理由> 面接審査及び法人情報が含まれるため
傍聴者数	0 人（一部公開の場合に記入すること。）

## 1 会議次第

- (1) 開会
- (2) 会議運営に関する説明等
- (3) 議題
  - ア 面接審査について（確認）
  - イ 面接審査（応募者）
  - ウ 本採点及び候補者の決定
- (4) 閉会

## 2 提出資料

- 資料1 会議次第
- 資料2 委員名簿
- 資料3 審査要領（詳細内容は非公開）
- 資料4 選定基準（詳細内容は非公開）
- 資料5 審査採点表
- 資料6 候補者選定報告書(案)

## 3 審議経過

### (1) 開会

事務局：ただいまから、第3回芦屋市指定管理者選定・評価委員会（海浜公園有料公園施設及び朝日ヶ丘公園有料公園施設を開会させていただきます。本日は、大変お忙しいところ御出席いただきまして、誠にありがとうございます。進行は富田委員長にお願いしたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいいたします。

### (2) 会議運営に関する説明等

富田委員長：皆様、こんにちは。手元の次第に従って会議を進めたいと思います。資料の確認をお願いできますでしょうか。では、委員会の成立要件の確認をお願いします。事務局から確認お願いいいたします。

事務局：本日は、委員定数5名中5名の出席をいただいておりますので、過半数の出席でございますので、本委員会は成立しております。

富田委員長：では、本委員会の公開・非公開についてお願いいいたします。

事務局：芦屋市情報公開条例で、附属機関の行う会議は原則公開と定められております。ただし、芦屋市情報公開条例第19条により非公開情報が含まれる事項の審議や公開することにより会議の構成、または円滑な運営に著しい支障を生じると認められる場合につきましては、出席者の3分の2以上の賛成があれば公開しないことができることとなっております。本日の審議におきましては、書類審査および面接審査並びに候補者の選定のため法人情報が含まれており、非公開とするべきと考えております。

富田委員長：事務局から説明がありましたが、非公開とすることに異議はありませんでしょうか。

(異議なしの声)

富田委員長：異議なしと認めて、会議は非公開に決定いたします。次に、議事録の取り扱いについてお願いいたします。

事務局：議事録の公開につきましては、非公開の会議であっても、発言者名を含め非公開の趣旨を損なわない範囲で公開すべきとされているところですので、そのように取り扱いと考えると思います。

富田委員長：では、この説明に対して、御異議ありますでしょうか。

(異議なしの声)

富田委員長：異議なしです。非公開の趣旨を損なわない範囲で公開とさせていただきます。

### (3) 議題

富田委員長：議題であります面接審査について事務局から御説明をお願いいたします。

事務局：【資料3, 4に基づき面接審査について説明】

富田委員長：ありがとうございます。何か御質問等があればお願いいたします。

特に何もなければ、面接審査に移りたいと思います。入室の案内をお願いします。

【セントラルスポーツ株式会社：入室】

富田委員長：本日はどうもお忙しいところありがとうございます。では、面接審査を始める前に、簡単に自己紹介をお願いできますでしょうか。

【セントラルスポーツ株式会社：自己紹介】

富田委員長：では、面接審査の前に簡単に流れの説明をいたします。説明は15分です。

終了3分前にベルを1回鳴らします。終了1分前にベルを2回鳴らしまして、最後15分経過後にベルが3回鳴った時点で、その時点で途中であっても説明は終了としてください。それから質疑応答に入ります。質疑応答は、20分以内としておりますので、厳守のほどよろしくお願いいたします。では、これから開始とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

【セントラルスポーツ株式会社：提案説明（15分）】

富田委員長：では、提案説明が終わりましたので、質疑応答を今から簡潔に行います。20分以内となっております。議事録については原則公開にはなりますが、非公開になる部分等もありますので、非公開を望む場合、具体的にノウハウ等にかかわること、営業機密等にかかわることについては非公開を恐らく望まれると思いますので、その場合は、回答に際して、これは非公開でお願いしますという形でおっしゃっていただければと思います。では委員の皆様、どなたからでも質疑応答をお願いできますでしょうか。

山口副委員長：朝日ヶ丘公園プールのことですが、こちらで実施している事業の中で、水泳教室など様々な提案いただいておりますが、水練学校が専用利用申請を予想されるのは御存じですよ。

セントラルスポーツ株式会社：はい。

山口副委員長：その中で、さらに数カ月という期間の中で、最近では台風も多く、屋外の施設等ということも踏まえて、実施事業の実現可能性の根拠を少し説明していただきたいのですが。

セントラルスポーツ株式会社：まず、午前中に水練学校が活用されていると聞いております。もちろん私どものノウハウに関しては、水泳を得意としておりますので、その辺りは、夏休みの短期教室等に事業を多く催すことができれば、間違いなく多くの方が御利用されることは分かっております。水練学校が今までの歴史もあり、事業を今後も展開したいというお声がありましたら、もちろんこれまで通り、事業として展開していただき、私どもとしては、午後の部の1時頃から4コマ、全部で16コマの事業を用意しようと考えております。目標の集客の人数としては、1,600名としておりまして、こちらの自主事業の水泳としては、十分それだけでも成り立つと考えております。

山口副委員長：午後の部は、水練学校とお話をして決めるということですね。

セントラルスポーツ株式会社：そうですね。今まで午前中に実施されていたので、午後を使おうと考えております。もし午前に水練学校を実施しないのであれば、弊社のほうで、同じような短期教室をやりたいとは思っています。

富田委員長：他いかがでしょうか。

藤川委員：類似の施設の管理実績もおありということですが、屋外のプールについても実績等がおありなのでしょうか。

セントラルスポーツ株式会社：はい。

藤川委員：それに関連して、特に朝日ヶ丘公園プールは横に公園もあり、住宅街の中で木の剪定などの業務も仕様書の中に入っているのですが、提案資料を拝見すると、専門の業者等に外注するという対応されるような方針をお持ちのようなのですが、そのあたりを詳しく御説明いただければと思います。

セントラルスポーツ株式会社：毎日できるような、落ちていた物を拾う、生えてきた雑草を切るなどの業務については、他の事業でもやっているのですが、高木や中木につきましては、専門業者に委託し、対応するように考えております。

比嘉委員：プールは特に危険度が高い施設だと思うのですが、御社が取り組まれている水難事故を防ぐ監視員の配置等の具体的な安全対策をお聞かせください。

セントラルスポーツ株式会社：まず弊社で行っている安全対策としては、やはり社員だけでなくアルバイトの方も全員に、まず出勤した際に、CPRを必ず毎日実施しております。月1回実際に心配蘇生のロールプレイングも実施しておりますし、万が一のときの安全管理に取り組んでおります。AEDの設置も完了しておりますので問題ないかと思えます。ただ、事故を未然に防ぐ部分に関しましては、プール監視員を最低でも約8名は確保し、注意して様子を見る。また、1時間に4回の目視確認を四隅で行っており、そういった訓練も実施しているのです、その辺りに関しては十分対応できるかと思えます。

比嘉委員：他府県も含めた他の管理されておられる施設で、過去に死亡事故等の大きな事故はないですか。

セントラルスポーツ株式会社：全国200か所ございますので、実際死亡事故がないかと言いますと、死亡された方はおられます。その理由はそれぞれでございまして、心臓が一番思

い当たるところですが、最近では高齢者の方も多く、くも膜下出血を起こされ、死に至ったという例もございます。

比嘉委員：施設の不備等で事故などはないということでしょうか。

セントラルスポーツ株式会社：それはないです。

比嘉委員：分かりました。

富田委員長：先ほどおっしゃられた8名の監視員は、朝日ヶ丘公園プールで8名、海浜公園プールでも8名ということでしょうか。

セントラルスポーツ株式会社：そうですね。必ず8名かということではなく、夏場の時期に関しては、もう少し増やすなど、そういったところは多少変化があるかと思えます。

富田委員長：常時プールに8名の監視員がいる形をとっているということでしょうか。

セントラルスポーツ株式会社：一応、常時8名を目指すような形をとっております。

富田委員長：なるほど。朝日ヶ丘公園プールは監視台が2つ程度しかなく、8人全員が上から監視できるというわけではないのかと思えますが。

セントラルスポーツ株式会社：そうですね。監視台の上に設置し、あとは四隅に設置と考えております。

富田委員長：分かりました。

山口副委員長：御社は、全国の様々な自治体の指定管理をされてきていると思いますが、芦屋市は、芦屋市スポーツ推進実施計画というスポーツ文化プランを出しておりまして、4つの政策目標を出しております。そういった政策目標に対してどのように貢献していきたいとお考えになっているのか説明いただければと思います。

セントラルスポーツ株式会社：お話しいただいた通り、各行政様でスポーツ推進計画は策定されておられる中で、我々が一番得意かつ貢献できるであろうということは、やはりその今回であれば水泳などの種目における導入部分を担うところであると思っております。やはり親子での利用で、親御様がお子様に対して、水の楽しさや達成感のようなことをお教えすることはなかなか難しいところではあります。我々のようなインストラクションを技術として持っている第三者の人間が正確にお教えするところから、プールは夏だけ遊びに行く場という認識から、体に良いので年中水泳を楽しみ、水泳技術を習得しようという認識までに持っていくことこそが、我々が50年近く行ってきた技術でございます。要するに、スポーツに親しむところに対して貢献できるのではないかと考えてお

ります。

山口副委員長：様々なターゲットグループが設定してあるかと思いますが、水泳のプログラムではこういったターゲットグループがメインとなっているのでしょうか。

セントラルスポーツ株式会社：一番は、やはりお子様です。なかなか大人の方ですと、屋外プールでいきなり泳ごうという方はいらっしゃらないので、それは海浜公園プールで賄えるであろうと考えております。

和田委員：御社は芦屋市で違う事業としても取り組まれている実績があり、芦屋市の特徴は御存じだと思います。そういったところを踏まえ、地域密着型ということを強くアピールしておられ、地域の住民の方と御社との連携、人が人を呼ぶ施設にしたいということが非常にキャッチーな形では伝わってくるのですが、具体的にどのような形で御社が地域密着としての住民の方に入り込んでおられるのか、あるいは今後どのような計画をされているのか御説明いただけますでしょうか。

セントラルスポーツ株式会社：まず弊社は、一番得意としているアカデミー部という分野がございまして、その中で研究施設を持っており、300のプログラムを持っております。弊社の企業理念である「0歳から一生涯の健康づくりに貢献する」ということで、もちろん0歳の子どものためのスイミングでの貢献。また、芦屋市で言いますと、もちろん高齢者は非常に多いと思いますが、その次に30代、40代、50代が多いと感じております。その第2世代の方がたくさんいらっしゃるので、その方をターゲットとし、その方の次の世代のお子様も大切にすということ、3世代を対象とした3つのプランを考えております。また、地域密着型として、我々の店舗の周りの清掃活動、近くの公園を利用してラジオ体操を行うことや地域のお祭りに出向いてストレッチを行うなど、我々から少しずつ足を運び、皆様と健康づくりを話し合えるような場を持つ取り組みを行っていきつものでございます。全体の取り組みとして他の自治体では、教育委員会と連携しながら、夏休み前にボランティアで中学校や小学校に参り、着衣水泳教室を開催し、水に溺れた際の対応技術などを指導しております。今では、少しずつ浸透し、夏場に呼んでいただけるようになりました。

和田委員：分かりました。ありがとうございます。

山口副委員長：配置条件確認表の中で、海浜公園プールで7名、朝日ヶ丘公園プールで3名計上されているかと思えます。2つ質問で、1つは、常勤と記載されている方は基本的に御社からの社員として置かれるつもりなのか。また、現在の指定管理者から雇用されるのかを確認したいです。もう1つは、海浜公園プールは、7名全員がB&G財団の資格取得予定と書いておられますが、いつ頃から取得される予定であるのか。以上2つを御説明いただければと思います。

セントラルスポーツ株式会社：まず常勤に関しましては、御社からの社員と考えております。もし現在勤務されている方々が継続して御勤務されたいということであれば、我々は喜んで相談の上、一緒に働いていければと思っています。もう1つ、B&Gの資格を現在持っておりませんので、こちらの指定管理に指定いただけましたら、すぐに取得に行く準備はしております。

山口副委員長：それは常勤として、その人を採用する場合もあるということでしょうか。

セントラルスポーツ株式会社：はい。

山口副委員長：総括責任者にその方を置くということはないですね。

セントラルスポーツ株式会社：それはないです。様々な所で指定管理をさせていただいておりますが、その例はないです。

山口副委員長：ありがとうございます。

富田委員長：では、時間になりましたので終了させていただきます。どうもありがとうございました。

セントラルスポーツ株式会社：ありがとうございました。

【セントラルスポーツ株式会社：退室】

【芦屋プールマネジメント共同事業体：入室】

富田委員長：本日はどうもお忙しいところありがとうございます。では、面接審査を始める前に、簡単に自己紹介をお願いできますでしょうか。

【芦屋プールマネジメント共同事業体：自己紹介】

富田委員長：では、面接審査の前に簡単に流れの説明をいたします。説明は15分です。終了3分前にベルを1回鳴らします。終了1分前にベルを2回鳴らしまして、最後15分経過後にベルが3回鳴った時点で、その時点で途中であっても説明は終了としてください。それから質疑応答に入ります。質疑応答

は、20分以内としておりますので、厳守のほどよろしくお願いいたします。では、これから開始とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

【芦屋プールマネジメント共同事業体：提案説明（15分）】

富田委員長：では、提案説明が終わりましたので、質疑応答を今から簡潔に行います。20分以内となっております。議事録については原則公開にはなりますが、非公開になる部分等もありますので、非公開を望む場合、具体的にノウハウ等にかかわること、営業機密等にかかわることについては非公開を恐らく望まれると思いますので、その場合は、回答に際して、これは非公開でお願いしますという形でおっしゃっていただければと思います。では委員の皆様、どなたからでも質疑応答をお願いできますでしょうか。

山口副委員長：これまでオージスポーツをはじめ3社で管理運営されてきました。振り返っていただき、強みや弱み、また新たな提案で示されている対応力を自己評価していただき、その点についてお伺いしたいと思います。

龍ヶ崎副委員長：正直なところ、海浜公園プールを担当させていただいた際に、初年度、当初の想定よりも少しキッズスイミングなどの在籍者が激減してしまい、初年度の収支は、非常に厳しい部分がありました。そこから徐々に盛り返し、現状は、キッズスイミングに関しましては、特に平日の夕方の学校終わりの時間帯、あるいは土曜日の午前中など、人気のある時間帯には満員状態で、キッズスイミングもキャンセル待ちが出ているような状態であり、非常に盛況にお客様から支持されて、運営ができておられると思います。また、設備管理についても大きな事故なく運営ができており、さらに光熱水費についても、設備関係に詳しい支配人などの運営の工夫で、抑えることができ、それなりにうまく運営できているのではないかなと思っています。

山口副委員長：今回の提案は、2つのダイバーシティへの対応力が新たな提案ということですね。

龍ヶ崎副委員長：そうですね。その部分についても、現状でも全く行っていないわけではなく、一部では実施しているのですが、そこをさらに強化をしていくところがございます。

比嘉委員：安全面を含めて、屋外プールと屋内プールの違い、また、屋外プールにおいて気をつけておられることを教えてください。

龍ガールズネット部員：当然のことながら営業期間が全く異なります。屋内プールは通年で営業しておりますので、一定の安定した体制のもとで、1年間運営をしていきます。ただ、屋外プールの場合は、夏場しか運営ができない上に、その時期はスタッフが大幅に増えるため、一時的に運営をする方を一時的に雇う形になり、やはり運営に当たっての教育や研修などの手間が、通年の所に比べると、屋外のほうが非常に大きくなります。加えて、夏場の直射日光が当たる所でのプールなので、労働環境は非常に過酷であり、また、屋内プールとは違い、コースロープで整然と泳ぐコースと歩くコースを区分けしていないため、監視が非常に難しい上「きゃあきゃあ」という叫び声が、悲鳴であるのかふざけているだけなのかが分からないといった部分も含めても、非常に監視の難易度は屋外プールが数倍高いと思います。熟練者ではない方がメインとなり、難易度の高い監視をすることもあるので、屋外プールのほうが監視の難易度は非常に高いところが、大きな特徴の差ではないかなと感じております。

比嘉委員：ありがとうございました。

富田委員長：LGBTのところについて出てきておりました。プールでの事業における関係について教えてください。

龍ガールズネット部員：トランスジェンダーの方で、心の性と体の性が一致していない方が、例えば更衣をする際、人によって様々ですので、個別でお聞きする対応が必要になります。特にお申し出があった際、どのような御要望をお持ちで、それに対して、我々としてできる範囲の御協力が何であるのかをコミュニケーションをとり把握することが非常に重要となります。その結果、場合としては、更衣室は御利用をお断りせざるを得ない状況も出てきます。

富田委員長：その申告が真実か否かを見極めることは非常に難しく、中には外見が男性の方が女性更衣室を使用したいという場面で、他の利用客との関係で判断が難しい部分はあるかと思います。その場合は、どのような対処をするのでしょうか。

龍ガールズネット部員：おっしゃる通りで、御本人様からのお申し出だけで判断するのではなく、例えば、女性更衣室にそういった方が入って来た際に、他の女性利用者の

方々の反応は非常に大事なポイントとなります。そういう意味では、御本人が心の性は女性であるとおっしゃっていても、他の利用者様との関係上、女性更衣室は御利用いただけませんというお願いをする場合はございます。そこは、御本人と、このプールだけの話ではなく、日常生活の中ではどうされているかをお聞きするシートでヒアリングをし、それに基づき判断をしていく方法をとっています。

富田委員長：分かりました。では、時間になりましたので終了させていただきます。どうもありがとうございました。

芦屋プールマネジメント共同事業体：ありがとうございました。

【芦屋プールマネジメント共同事業体：退室】

【A社：入室】

富田委員長：本日はどうもお忙しいところありがとうございます。では、面接審査を始める前に、簡単に自己紹介をお願いできますでしょうか。

【A社：自己紹介】

富田委員長：では、面接審査の前に簡単に流れの説明をいたします。説明は15分です。終了3分前にベルを1回鳴らします。終了1分前にベルを2回鳴らしまして、最後15分経過後にベルが3回鳴った時点で、その時点で途中であっても説明は終了としてください。それから質疑応答に入ります。質疑応答は、20分以内としておりますので、厳守のほどよろしくお願いいたします。では、これから開始とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

【A社：提案説明（15分）】

富田委員長：では、提案説明が終わりましたので、質疑応答を今から簡潔に行います。20分以内となっております。議事録については原則公開にはなりますが、非公開になる部分等もありますので、非公開を望む場合、具体的にノウハウ等にかかわること、営業機密等にかかわることについては非公開を恐らく望まれると思いますので、その場合は、回答に際して、これは非公開でお願いしますという形でおっしゃっていただければと思います。では委員の皆様、どなたからでも質疑応答をお願いできますでしょうか。

山口副委員長：今回、                    と                    は、初めて連合体になるということでは

か。

A 社：そうです。

山口副委員長：そうですか。この事業計画書を出すに当たり、現状の施設は分析されたと思います。その2つを分析されて、現状の課題はどういうところにあるとお考えでしょうか。

A 社：まず海浜公園プールにつきましては、現管理団体も素晴らしい運営をされておられるなど感じておりますので、そこで新たな事業展開によって、それを上回るような展開は厳しいという感じを受けています。

山口副委員長：海浜公園プールは利用人数を5%アップされる。また、朝日ヶ丘公園プールは10%アップという数値目標を出されておりますが、どのような取り組みで上がっていくと見込まれているのか、その根拠の御説明をお願いします。

A 社：正直申しまして、正確な根拠はございません。現在、[ ]で管理運営している[ ]では、管理させていただいてからの2年間で、[ ]の利用率向上を達成しております。その経験をもとに、少し高めの設定で5%とさせていただきました。また、朝日ヶ丘公園プールにつきましては、もう少し広報などを徹底することによって、集客できるのではないかとといったところで、10%という形で設定をさせていただきました。

山口副委員長：[ ]で管理運営されている[ ]では、[ ]評価を受けておられましたが、これは[ ]が評価された[ ]でしょうか。

A 社：いいえ。[ ]から受けた評価になります。

山口副委員長：分かりました。

富田委員長：目標設定のところですけども、朝日ヶ丘公園プールのほうが、まだ伸び代があると考えておられるのでしょうか。

A 社：はい。

富田委員長：それは先程おっしゃられた、市民への広報が不足しており、市民への認知度が低いのではないかと判断したということでしょうか。

A 社：はい。

比嘉委員：共通してお聞きしていることなのですが、やはりプールは死亡事故等が一

番起こりやすいので、様々な対策は講じられていると思うのですが、特に監視員への指導は具体的にどのようにして徹底されておられますか。

A 社：現在、XXXXXXXXXXでは、朝の始業前に監視員全員にAEDのバッテリーチェックをします。また、笛とメガホンを持ち、一次救命への復習を必ず行っております。例え人数が揃っていても、そういった部分を徹底的に行っておかなければならないと考えております。

比嘉委員：分かりました。

富田委員長：朝日ヶ丘公園プールは、夏だけということもありますので、アルバイトの比重が高くなるということでしょうか。

A 社：そうですね。現実的にはアルバイト職員の比率は高くなるだろうと予想しておりますが、海浜公園プールのスタッフとリンクした状態で動いていくとイメージしております。その中で職員の行き来も頻繁にあると思うので、スタッフの教育から安全管理ができるのではないかなと考えております。

富田委員長：アルバイト募集する際には、資格保有者に限定して募集をかけるようなことはしないのでしょうか。あるいは、水泳部を優先するなど別の方法を考えておられますか。

A 社：特に水泳部をとということはないです。ですが、採用する際には、やはり現場業務の形態を正確に把握していただかなければならないので、採用後、応急手当普及員の職員を活用し、普通救命講習を受けて臨むような形にしています。

富田委員長：ありがとうございます。

和田委員：朝日ヶ丘公園プールについてお聞かせください。利用人数10%アップと強気でおられますが、前提としまして、水練学校が午前の枠に入り、午後枠として、この10%アップを考えていらっしゃるのでしょうか。

A 社：利用人数の目標設定につきましては、一般開放の利用人数として考えてはおりますので、非常に高めの設定であるとは、私どもも認識はしているのですが、あくまで目標設定ということで高めの数値を設定させていただいております。

和田委員：意気込みとしての設定ということでしょうか。

A 社：はい。また、家族でお子様を連れてプールに行く際には、空いているとい

う情報もあり、やはりプロモーションを徹底していけば一般利用の利用者数はもっと増加できるとは考えております。

和田委員：また、屋外プールということで、今年のような台風などの災害などを考慮すると、やはり非常に強気な目標設定をされていると感じているのですが。

A社：今年のような台風までの想定はできておりませんので、通常の夏の季節という意味合いでの10%とはなっております。

和田委員：ここで収支が大きく変わってくると思いますので。屋内プールと屋外プールのバランスという意味でも少しお聞きしたいと思います。

A社：他のどの施設も、今年は、屋外プールは苦しい状態であったということは聞いております。

藤川委員：[ ]と[ ]で管理運営をされており、もともと[ ]とということで、地域に根づいたスポーツ振興を行ってこられたと思います。一方で、事業計画や先程の説明においても、市民参加、市民協働への取り組みについては触れておられなかったもので、できればこの場で、地域や住民との連携という観点で、強みとっておられることがあれば説明をお願いいたします。

A社：現在、地域の方々に対し、重点的に取り組んでいるプールで貢献できる事業に関しては、水辺の事故を減らすということを目的に水辺の安全教室という形で、セルフレスキューなどに重点的に取り組んでいることがございます。それは広報を利用させていただいて、地域住民の方を対象に実施しております。また、新しい取り組みとして、スイミングスクールの体操前に、[ ]からいただいている水辺の事故ゼロを目指してという紙芝居を使用し、少しでも事故を減らしていくという努力は、[ ]では、強化して行っております。もう一点、市民との共同で施設維持、美観の維持ということを目的にクリーンデイ、クリーンアップデイを設け、市民の方にも御協力いただきながら、施設外等の清掃活動を実施しております。また、あと構成企業とはチラシやリーフレットの配置など相互連携をとっていこうと考えております。

山口副委員長：職員の採用の部分に関して、計画書の16ページに統括責任者の方が記載されております。副責任者が2名、専任指導者3名。また、資格等が記載さ

れておりますが、この2、3名の方は事業団から派遣されるのか、それとも新たに募集されるのか。どういう見通しをされていますでしょうか。

A 社：2つ考えがございまして、事業団の本部である尼崎に勤めている者を異動により配置することも考えていますし、現在管理されておられる団体の職員の方で、もし事業団で採用を希望されるような方がいらっしゃいましたら引き続き雇用させていただきたいと考えております。もちろん、新規募集もかけつつというふうに考えております。

山口副委員長：事業団からは、何名ぐらい出すという部分はまだこれからだということでしょうか。

A 社：そうですね。総括責任者を含めまして、3名程度は事業団の職員を配置したいとは考えております。

富田委員長：では、時間になりましたので終了させていただきます。どうもありがとうございました。

A 社：ありがとうございました。

#### 【A社：退室】

富田委員長：面接審査が終了しましたので採点に入ります。採点表に記入後、事務局へ提出をお願いいたします。

#### 【各委員 審査】

#### 【事務局回収・集計作業】

#### 【採点集計表配布】

富田委員長：では、採点表がお手元にありますので、ご覧ください。事務局から説明をお願いします。

事務局：ご提出いただきました、採点表を集計いたしました。第2回選定・評価委員会にて説明いたしました通り、採点には各項目で5割以上、総得点で7割以上、また、選定基準の6管理運営費の細目（1）海浜公園有料公園施設及び（2）朝日ヶ丘公園有料公園施設がそれぞれ配点合計の100分の70以上を満たすという基準を設定しております。この基準をクリアしている応募者が審査の対象となります。選定基準に基づき応募者から提示された事業計画書、管理運営経費、見積書及び決算報告書等の書類審査並びに面接審査を行い、採点を行った結果、応募者中、セントラルスポーツ株

式会社は基準を満たしており、1,600点満点で最高得点の1,253点でした。なお、芦屋プールマネジメント共同事業体も基準点を満たしており、1,600点満点で1,238点であり、次点候補者とするということに入れさせていただいております。これで良ければ、今から皆さんに署名をいただいて、これを提出という形にさせていただきたいと思います。

富田委員長：特にご意見等、無いようですので、これをもちまして第二次選考の結果といたします。委員会としては、最高得点のセントラルスポーツ株式会社、これを指定管理候補者に選定し、次点候補者を芦屋プールマネジメント共同事業体としたいと思います。では、議題はこれで終了になります。委員の皆様は署名をお願いします。

【各委員 署名】

(4) 閉会

富田委員長：では、以上をもちまして、第3回芦屋市指定管理者選定・評価委員会（海浜公園有料公園施設及び朝日ヶ丘公園有料公園施設）は、これで終わります。

事務局：どうもありがとうございました。